

平成30年度
全国学力・学習状況調査の結果概要

忠岡町教育委員会

平成30年度全国学力・学習状況調査 忠岡町結果概要公表について

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象学年

- 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
(平成30年4月17日に調査を実施した学校・児童生徒数 大阪府992校 73,084人)
- 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年
(同 大阪府470校 69,791人)

(3) 調査の内容

- ①教科に関する調査
 - ・主として「知識」に関する問題 [国語A、算数・数学A]
 - ・主として「活用」に関する問題 [国語B、算数・数学B]
 - ・理科については「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う。
- ②質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

(4) 調査の方式 悉皆調査

(5) 調査を実施した忠岡町の学校・児童生徒数

○実施校数

- ・小学校: 2校
- ・中学校: 1校

○実施児童生徒数

- ・小学校: 161 人
- ・中学校: 157 人

公表に関する配慮事項について

平成30年度全国学力・学習状況調査実施要領に基づき、次の点に配慮し公表する。

- 忠岡町教育委員会は、保護者や地域の住民に対し、町内における教育及び教育施策に関する説明責任を果たす観点から、調査結果を公表する。
- 本調査の目的及び調査結果が学力や学習状況、生活状況の特定の一部である。
- 学校ごとの児童生徒の学力の結果が明らかになる公表は行わない。
- 本町は、公立中学校が1校であるため、町教育委員会において公表することが、学校単位の公表となるため、中学校の学力の結果は非公表とする。
- 本町の特徴的な課題と改善方策を公表する。

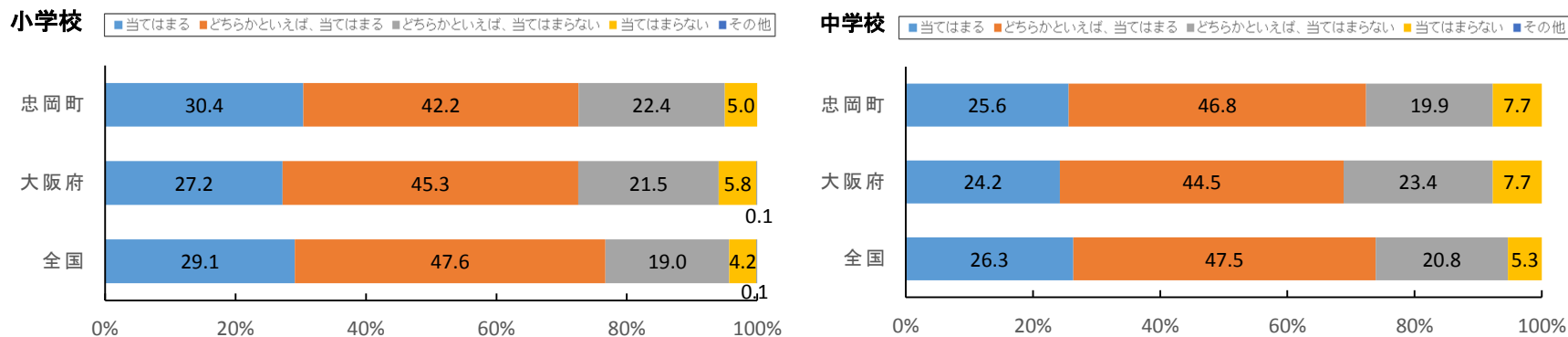
全体の概要について I (学力に関する調査より)

- 【小学校国語】目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことや、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることに課題。
- 【小学校算数】示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述することに課題。
- 【小学校理科】科学的な言葉や概念を理解することや、より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察することに課題。
- 【中学校国語】話合いの話題や方向を捉えて的確に話すことや、相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くことに課題。
- 【中学校数学】事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することや、与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することに課題。
- 【中学校理科】探求の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見いだし探求を深めることに課題。

全体の概要についてⅡ (学習状況に関する調査より) ～忠岡町H30年度の重点取り組みにかかる概要～

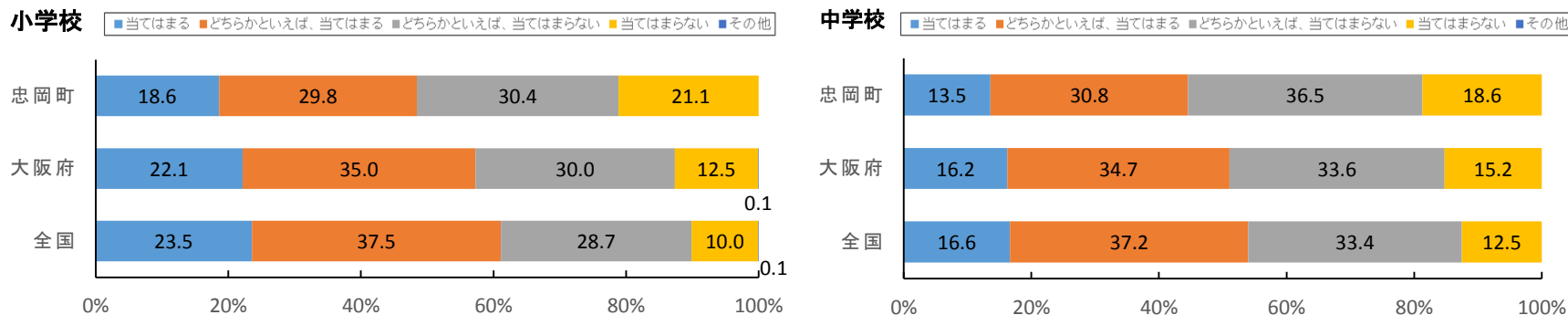
①【自ら考え取り組む子を育てる】「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」

肯定的評価「当てはまる」は小学校では、全体の約3割、中学校では約2割5分であり、大阪府の割合よりも高評価である。



②【授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす】「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」

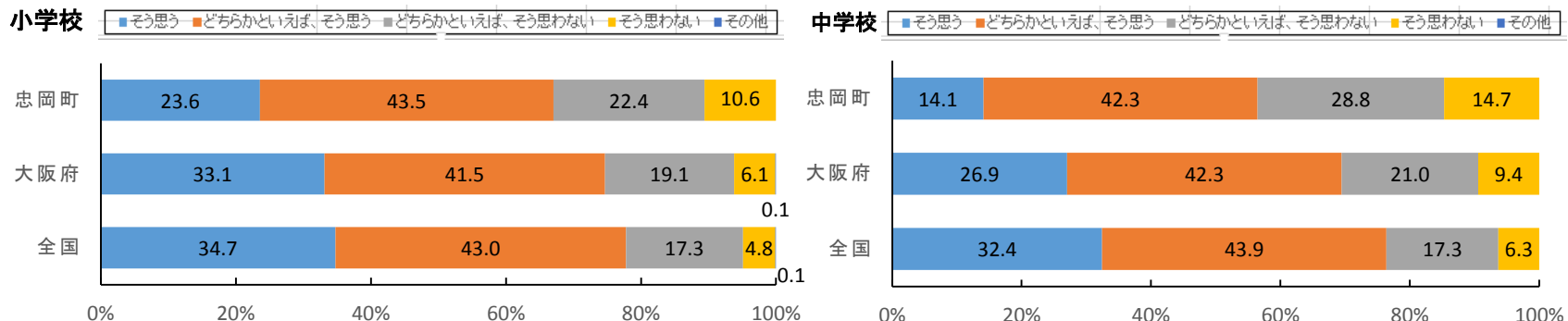
否定的評価「当てはまらない」・「どちらかといえば、当てはまらない」と答えた児童生徒は全体の5割以上あり、全国・大阪府に比べ割合が高く、授業改善に取り組む上での課題である。



全体の概要についてⅡ (学習状況に関する調査より) ～忠岡町H30年度の重点取り組みにかかる概要～

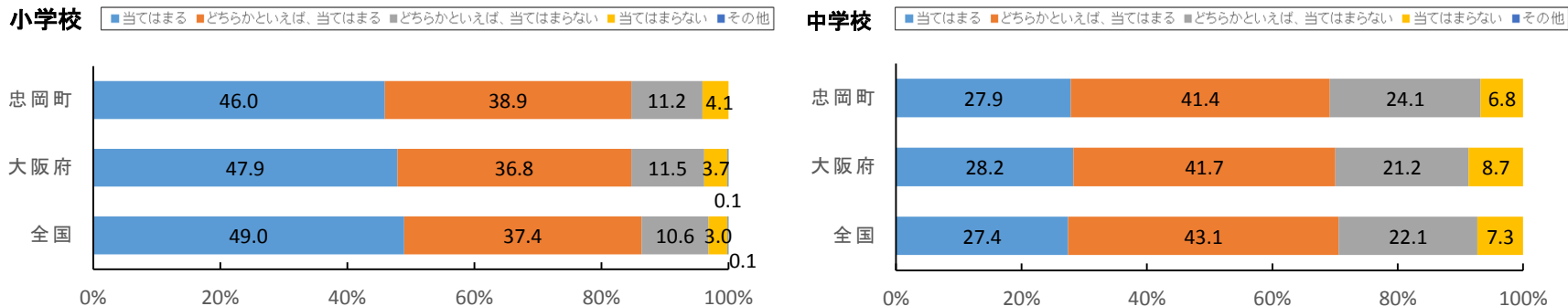
③【授業で自分の考えをまとめ説明や発表ができる子どもをふやす】「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」

否定的評価「そう思わない」・「どちらかといえば、そう思わない」は小学校では、全体の3割3分、中学校では約4割4分であり、全国・大阪府に比べ割合が高く、課題となっている。



④【授業内容がわかる子どもをふやす】「算数(数学)・理科の授業の内容はよくわかりますか」・・・算数(数学)と理科の合算データ

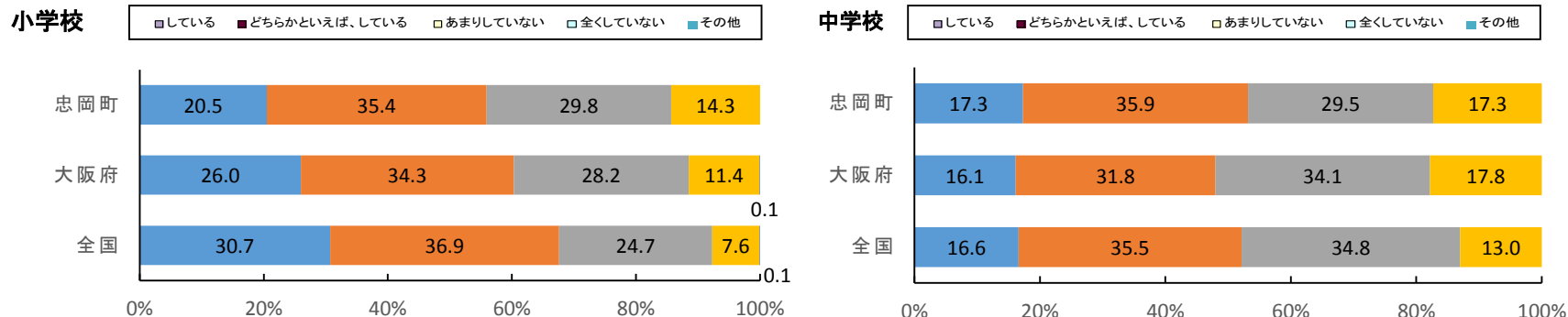
肯定的評価「当てはまる」・「どちらかといえば、当てはまる」は小学校では全体の約8割5分、中学校では約7割であり、全国・大阪府に比べ割合がやや低く、課題である。



全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町H30年度の重点取り組みにかかる概要～

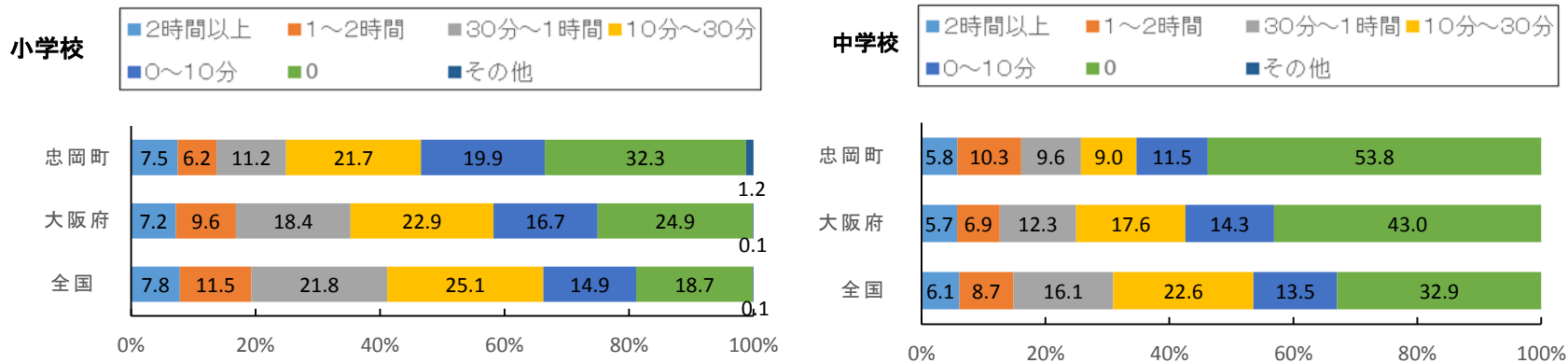
⑤【家で計画的に学習する子どもたちを育てる】「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

肯定的評価「している」・「どちらかといえば、している」と答えた児童生徒が、小学校では全体の5割6分で課題があるが、中学校では全体の5割3分で全国・大阪府より高評価である。



⑥【読書に親しむ子どもたちを育てる】「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」

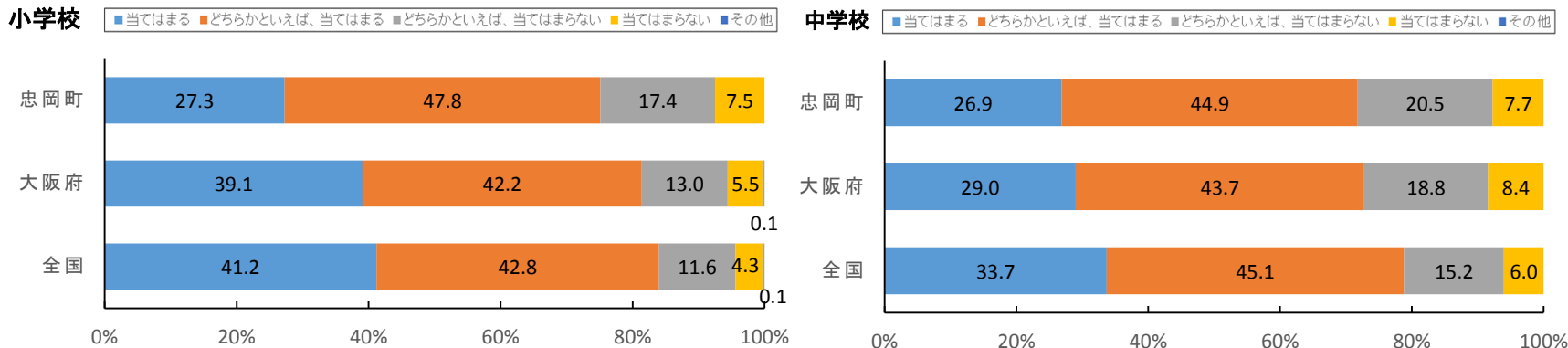
「0」・「0～10分」をあわせた割合が小学校では約5割2分、中学校では約6割5分あり、全国・大阪府に比べ割合が高く、課題となっている。



全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より） ～忠岡町H30年度の重点取り組みにかかる概要～

⑦【自分にはよいところがあると思う子どもたちを育てる】「自分には、よいところがあると思いますか」

否定的評価「当てはまらない」・「どちらかといえば、当てはまらない」と答えた児童生徒が、小学校では全体の約2割5分、中学校では約2割8分おり、自尊感情を高めていくことが課題である。



忠岡町における学力・学習状況に関する施策

- 忠岡町授業改善推進事業(全小・中学校)・・・小・中学校における教育内容の充実と指導方法の工夫改善を図っています。
- 学ぶ楽しさを育む推進事業(小1・2)・・・小学校1・2年生児童に落ち着いた学習環境の提供と基礎的・基本的な内容の確実な定着を図っています。
- 学力向上サポーター配置事業(小3・4)・・・基礎・基本の定着を図り、「確かな学力」を育むためのきめ細やかな学習支援を行っています。
- 小学校読書活動推進事業(全小学校)・・・小学校に司書を配置し子どもたちの興味関心を高め、本に接する機会を増やしています。
- 学力検査CRTⅡ(小4)・・・児童の基礎・基本における学習のつまづきの把握と効果的な指導につなげています。
- 小・中学校児童生徒学校生活意識調査〈Hyper-QU〉(小5・中2)・・・よりよい学級集団づくりに向けた課題を把握することにつなげています。
- 授業力向上支援・・・教員の授業力向上に向けた授業観察、及び指導・助言を行っています。
- 授業力向上のための教員研修・・・教科・領域・校種の枠をこえた授業改善と校内研修を活性化につなげています。
- 忠岡町授業改善に向けての連絡会・・・学力にかかわる情報共有と各校における学力向上を推進しています。
- 小・中学校生徒指導連携会議・・・小・中学校の9年間を見通した取組の共有と連携を推進しています。
- 忠岡町英語教育推進事業・・・小・中学校教員の英語指導力を高めるために、研修等を実施しています。

忠岡町立忠岡小学校

小学校 国語 『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、その一文が心に残った理由として適切なものを選択する。

考えられる課題

●情景から主人公の心情を読み取る力

本校正答率	59.6 %
全国正答率	74.0 %

本校と全国との間で、正答率に約15%の差が見られる。

これからの指導の方向性

☆場面の展開と登場人物の心情の変化、行動描写などをふり返る時間を授業で確保する。

☆大阪府の提供教材「ことばのちから」を活用するなど、言語事項において様々な表現に触れる。

課題が見られる設問

- A4 中西さんは特に心に残った文として——部を取り上げ、その理由について説明しようと考えています。理由として最も適切だと考えられるものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。
- 1 登場人物の行動から、コウタのあわてている様子が伝わってくるから。
 - 2 景色や様子を表す表現から、コウタのいかりやくやしさが伝わってくるから。
 - 3 音を表す表現から、山の静けさと海の激しさが伝わってくるから。
 - 4 登場人物の会話から、お互いを思う気持ちが伝わってくるから。

小学校 国語 これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、 を書く。

考えられる課題

- 人の話や自分の意見を整理し、まとめる力
- 字数制限などの条件をもとに書く力。

本校正答率	12.8 %
全国正答率	33.8 %

本校と全国との間で、正答率に約15%の差が見られる上に、正答率が極めて低い。

これからの指導の方向性

- ☆授業だけでなく、その他普段の学校生活において、子ども達が話し合い、人の意見を聞き、自分の意見を言う機会を増やしていく。
- ☆自分や友達の意見をまとめて話したり書いたりする機会を増やしていく。

課題が見られる設問

B1三 松山さんは、【話し合いの様子の一部】ので、自分の考えを話します。あなたが松山さんなら、どのような考えを話しますか。その内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

小池さんのいづれかの意見を取り上げ、その取り上げたことに対してどう考えるのかを書くこと。

・司会が話しているように、「これから言葉をどのように使っていきたいか」について書くこと。

・八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

小学校 算数 ウとエの二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ。

課題が見られる設問

A4(2)ウとエの2つのシートがあります。ウとエのシートの面積は、ちがいます。



次の表は、シートの上にすわっている人数とシートの面積を表しています。

すわっている人数とシートの面積

	人数(人)	面積(m ²)
ウ	16	8
エ	9	5

どちらのシートのほうがこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

ウ $16 \div 8 = 2$ エ $9 \div 5 = 1.8$

上の計算からどのようなことがわかりますか。次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1. 1m²あたりの人数は2人と1.8人なので、ウのほうがこんでいる。
2. 1m²あたりの人数は2人と1.8人なので、エのほうがこんでいる。
3. 1人あたりの面積は2m²と1.8m²なので、ウのほうがこんでいる。
4. 1人あたりの面積は2m²と1.8m²なので、エのほうがこんでいる。

考えられる課題

- 立式の理由を説明するなど、式を言語化する力
- 単分量当たりの大きさを理解する力

本校正答率	31.9 %
全国正答率	50.1 %

これからの指導の方向性

立式時に単位をつける等、言語化させて説明できるようにしていく。

小学校 算数 (1)メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く。(2)一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ。

課題が見られる設問

B3(1)メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれていますか。それぞれ着目していることを、言葉や数を使って書きましょう。

3(2)グラフ1とグラフ2を見て、次のようにまとめます。

- ・「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数が、いちばん少ないのは〔ア〕です。
- ・〔ア〕の「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数の割合は、いちばん〔イ〕です。

上のアにあてはまるものを、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上のイにあてはまるものを、下の4と5から選んで、その番号を書きましょう。

ア	1	1・2年生
	2	3・4年生
	3	5・6年生

イ	4	小さい
	5	大きい

考えられる課題

- グラフから必要な情報を読み取る力
- 情報とグラフを関連付ける力

3(1)

本校正答率	6.4 %
全国正答率	20.7 %

3(2)

本校正答率	17.0 %
全国正答率	23.9 %

これからの指導の方向性

グラフを活用する機会を増やし、他者が読み取った情報や観点をグラフと関連付けて解釈する力をつける。

小学校 理科 1(3)腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く。2(1)流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ。

課題が見られる設問

1(3)前のページの【たかしさんのまとめ】に書かれている「うでを曲げたりすることができる骨と骨のつなぎ目」のことを何といいますか。そのことばを書きましょう。

2(1)かつやさんの予想にあるような、流れる水の「土や石を積もらせる」働きを何といいますか。そのことばを下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 たい積 2 運ばん 3 しん食

考えられる課題

●基礎知識の定着

1(3)

本校正答率	61.2 %
全国正答率	79.4 %

2(1)

本校正答率	63.3 %
全国正答率	83.6 %

これからの指導の方向性

朝学習や、宿題などを通して、復習の機会を増やし、基礎知識を定着させる。

小学校 理科 食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く。

課題が見られる設問

4(4) ゆかりさんは、実験の結果からいえることを、下のよう
にまとめました。

【実験の結果からいえること】水にとけた物は蒸発しない。

ゆかりさんが【実験の結果からいえること】としてまとめた内容
は、【問題】に対するまとめとしてふさわしくありません。
ふさわしいまとめになるように書き直しましょう。

考えられる課題

●実験等の結果から考察
する力をつける。

本校正答率	24.5 %
全国正答率	35.9 %

これからの指導の方向性

実験時間をできるだけ多く確保し、実験結果をもとに分析し、問題に正対したまとめができるようにしていく。

児童アンケート

課題が見られる設問

(14) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含まれます。)

考えられる課題

● 家庭学習に主体的に取り組む姿勢。

1時間より少ないと回答した児童の割合が
51.0%(全国33.7%)

これからの指導の方向性

全国(33.7%)、大阪府(42.0%)と比較しても、極めて高い数値である。学校から家庭に向けて呼びかけている「家庭学習の時間」は、学年×10分+10分(6年生は70分)である。宿題を全くしていない児童が多くない現状から考えて、学校から出す宿題だけでなく、自主的に行う学習について、取り組み方を具体的に示しながら、再度意識づけをしていく必要がある。

児童アンケート

課題が見られる設問

(15) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)

考えられる課題

● 読書をする児童としない児童との差。

10分より少ないと回答した児童の割合が
53.1%(全国33.6%)

これからの指導の方向性

全国(33.6%)、大阪府(41.6%)と比較しても、極めて高い数値と言える。
1時間以上読書をしている児童の割合は、24.5%(全国(19.3%)、大阪府(16.8%))と、高い数値であることから、読書をする児童としない児童の差が大きくあると考えられる。
読書をしない児童に対して、読書に親しめるための情報発信や取り組みを考えていく必要がある。

児童アンケート

成果が見られる設問

(37) 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた
- 3 書く問題は全く解答しなかった

考えられる成果

●無解答であきらめる児童が減少した。

1. 2と回答した児童の割合が
95.9%(全国97.5%)

これからの指導の方向性

全国(97.5%)、大阪府(96.9%)と比較しても、大きく差がない結果。

分からない問題でも、できるところまで取り組む姿勢が浸透してきていると考えられる。今後も継続していきたい。

児童アンケート

課題が見られる設問

(57)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。

考えられる課題

●自分の考えを深めたり、広げたりすることができていない。

否定的な回答(3. 4)をした児童の割合が
34. 6%(全国22. 1%)

これからの指導の方向性

全国(22. 1%)、大阪府(25. 2%)と比較しても、高い数値である。

校内のアンケートの同様設問でも、他の設問と比較して、否定的な回答が多かった。話し合い活動を取り入れているが、「考えを深めたり、広げたり」することにつながっていないと考えられる。

授業での取り組みは、継続して進めていきながら、授業時間以外での話し合い活動の機会を増やすことで、自分の考えを深めたり広げたりする力をつけていきたい。

児童アンケート

課題が見られる設問

(5)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

考えられる課題

●いじめに対する認識を深めること。

当てはまると答えた児童の割合が

65.3%(全国85.9%)

どちらかといえば当てはまらないと答えた児童の割合が

10.2%(全国1.9%)

これからの指導の方向性

全国(85.9%)、大阪府(85.2%)と比較しても、著しく低い。

また、否定的な回答も10.2%(全国(3.0%)、大阪府(3.5%))と多かった。

いじめについて、「特別の教科 道徳」を中心とした道徳教育や人権教育を通して、計画的に子どもたち自身が考える場を設けていく必要がある。

児童アンケート

課題が見られる設問

(56)授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う。

考えられる課題

●自分の考えを伝える経験が少ない。

肯定的な回答(1、2)をした児童の割合が
36.7%(全国61.0%)

これからの指導の方向性

全国(61.0%)、大阪府(57.1%)と比較しても、著しく低い。
調べたことや気づいたことなどを発表する機会をできるだけ増やすとともに、自分の考えを持ち、それを工夫して発表できるように、作文や発表などの活動の際に、工夫するポイントを絞って指導していく必要がある。

忠岡町立東忠岡小学校

小学校 国語 【春休みの出来事の一部】の中で、……部と —— 部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す。

考えられる課題

●文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くこと。

正答率 18.8%

無解答率 4.5%

正答率が全国平均を15ポイント以上下回っている。

これからの指導の方向性

☆ 主語と述語が適切な係り受けの関係となっていることが、伝えたいことを相手に正確に伝える上で重要であることに気づけるようにする。

☆ 主語と述語の関係については、表現するときだけでなく、文章を読む時にも強く意識できるように指導し、書くことの学習とも関連を図り、児童が自分で書いた文章を、丁寧に読み返す習慣をつけるようにする。

課題が見られる設問

A5 大山さんは、春休みの出来事について文章を書いたあと、読み返して、……部と —— 部とのつながりがあった。次の【春休みの出来事の一部】をよく読んで、あとの

(問い)に答えましょう。(省略)

(問い)……部と —— 部とのつながりが合っていない文の番号を、①～④までの中から一つ選んで書きましょう。また、……部はそのままにして、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

小学校 国語 【伝記「湯川秀樹」の一部】を読んで、【ノートの一部】C 最も心がひかれた一文とその理由の文章の に入る内容を書く。

考えられる課題

● 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと。

正答率 39.3%
無解答率 25.0%

- ・正答率が全国平均を10ポイント以上下回っている。
- ・無解答率が全国平均を10ポイント以上上回っている。

これからの指導の方向性

- ☆ 何のために、何を知りたいのか、どのような情報が必要なのか、という目的を明確にした上で、全体の構成を把握しながら読めるようにする。
- ☆ 根拠となる叙述を取り上げて、その理由を説明できるようにする。
- ☆ 気になるところを読み返し、他の部分に書かれている叙述とも関連付け、取り上げた人物の生き方について理解を深めるとともに、自分の考えも深めながらまとめることができようにする。

課題が見られる設問

B 3 山下さんは、日本人で初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士について書かれた伝記「湯川秀樹」を読み、最も心がひかれた一文とその一文を選んだ理由をまとめることにしました。次は、山下さんの【ノートの一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

(省略)

3 二 山下さんは、最も心がひかれた一文として、Bの中から「自分の力で、やれるところまでやってみよう。」を選びました。

(省略) Cに入る内容をあとの条件に合わせて書きま

小学校 算数 メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く。

課題が見られる設問

B 3 しおりさんたちの学校は、「進んであいさつする」と「本をよく読む」の2つのめあてに取り組んでいます。しおりさんたちは、7月と12月に、2つのめあてについて全校児童625人に対してアンケート調査をし、その結果を下グラフに表しました。しおりさんは、グラフからわかることを2つのメモに書きました。

(省略)

(1)メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれていますか。それぞれ着目していることを、言葉や数を使って書きましょう。

考えられる課題

●メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述すること。

正答率	20.5%
無解答率	29.5%

・無解答率が極めて高く、全国平均を約10ポイント以上上回っている。

これからの指導の方向性

- ☆ 他者が読み取った情報を、総数や変化という観点で分類し、それぞれの情報について意見を出し合う活動をする。
- ☆ グラフのどの部分に着目して情報を読み取ったのかを説明し合うことで、他者が読み取った情報とグラフを関連付けて解釈ができるようにする。

小学校 算数 一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ。

課題が見られる設問

B 3 (2) グラフ1とグラフ2を見て、次のようにまとめます。

(省略)

上のアにあてはまるものを、下の1～3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上のイに当てはまるものを、下の4と5から選んで、その番号も書きましょう。

(省略)

考えられる課題

●棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断すること。

正答率	18.8%
無解答率	1.8%

正答率が極めて低い。

これからの指導の方向性

人数を表したグラフだけでなく、目的に応じて割合を表したグラフを新たに作り、それぞれのグラフから読み取ることができる情報を関連付けながら考察できる活動を取り入れる。

小学校 理科 腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く。

課題が見られる設問

1 たかしさんはひながつばさを動かしているのを見つけました。そこで、たかしさんは、鳥のつばさと人の手やうでのつくりについて本で調べ、下のようによまとめました。

(省略)

(3)

【たかしさんのよまとめ】に書かれている「うでを曲げたりすることのできる骨と骨のつなぎ目」のことを何とよまいますか。そのことばを書きましよう。

考えられる課題

●骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解すること。

正答率	61.6%
無解答率	14.3%

- ・正答率が全国平均を15ポイント以上上回っている。
- ・無解答率が全国平均を10ポイント以上上回っている。

これからの指導の方向性

言葉の意味を的確に捉えることができるように実際の自然の事物・現象に適用して説明する場面を設定するようにする。

小学校 理科 食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導き出す結論を書く。

課題が見られる設問

4 ゆかりさんたちは、海で見つけた魚を飼育して観察することにしました。ゆかりさんたちは、魚を飼育するために、海水を持ち帰りました。しかし、砂などが混じり、にごっていたため、ろ過することにしました。(省略)

しばらく魚を飼育していると、水そうに入っている水が減ってきました。ゆかりさんたちは、まもるさんの考えを確かめるために、次のように問題を立て、実験することにしました。(省略)

(4)ゆかりさんが【実験の結果からいえること】としてまとめた内容は【問題】に対するまとめとしてふさわしくありません。ふさわしいまとめになるように書き直しましょう。

考えられる課題

●実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述すること。

正答率	26.8%
無解答率	14.3%

- ・正答率が全国平均を約10ポイント下回っている。
- ・無解答率が高い。

これからの指導の方向性

- ☆ 問題を確認し、実験などで得られた結果を根拠とした考察を行い、実験結果から言えることだけに言及した内容かどうかについて検討するようにする。
- ☆ 問題解決の様々な場面で自分の考えを表現したり、他者の考えを聞き、それを基に自分の考えをふり返ったり、見直したりするなどの話し合いを重視した学習活動をする。

児童アンケート

成果が見られる設問

(14) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)

考えられる成果

○家庭学習習慣が定着してきている。

1日当たりの勉強時間

全くしない	0%
30分未満	8.0%
30分以上、1時間未満	23.2%

- ・「全くしない」と回答した児童が一人もいなかった。
- ・「30分未満」の回答率が、ほぼ全国平均と同じだった。

これからの指導の方向性

- ・本校が継続して取り組んでいる「家庭学習チャレンジ週間」において、保護者との連携が徐々に進んでいることから、家庭学習への意識は高まっている。
- ・今後、家庭でより計画的に学習を進めていくために、「家庭学習の手引き」による児童への指導・保護者への啓発を進め、自主的・計画的に学習を進める力を養うことに継続して取り組んでいく。

児童アンケート

課題が見られる設問

(15)学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)

考えられる課題

- 読書に親しむ機会が不足している。
- 読書の習慣が身につけていない。

全くしない	26.8%
10分より少ない	25.0%
10分以上30分より少ない	25.9%

・全国平均と比べて、「全くしない」の回答率が約8%、「10分より少ない」の回答率が約11%高くなっている。

これからの指導の方向性

- ・本校が取り組んでいる「家庭学習チャレンジ週間」に今後も継続して取り組み、家庭学習習慣の定着を目指す中で、家庭での読書に対する意識を高めていく。
- ・本校が取り組んでいる「目指せ！読書100冊」や「朝読書」の取り組みを今後も継続し、本に触れる機会を増やしていくことで、読書意欲を高め、読書量を増やしていく。

児童アンケート

課題が見られる設問

(37) 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか。

考えられる課題

- 問題を理解し、適切な言葉や数、式を使い、自分の言葉で、わけや求め方を説明する力がついていない。
- いろいろな方法で、問題を解こうとする意欲が低い。

・全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 64.3%

・全国平均と比べて、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」の回答率が約6%下回っている。

これからの指導の方向性

- ・本校が取り組んでいる「授業の構造化」を継続し、授業において自らの考えを書いたり、発表による児童同士の交流の機会を増やしていくことで、自分の言葉で発表・説明ができる力を養っていく。
- ・取り組む過程や姿勢を大事に評価していくことで、最後まで解こうとする意欲を高めしていく。
- ・力だめしテスト等において、適切な言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題を作成し、授業改善につなげていく。

児童アンケート

課題が見られる設問

(57)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。

考えられる課題

- 話し合う活動に積極的に取り組もうとする意欲が持てていない。
- 「聞く、伝える」活動を通して、自分の考えを深め、広げている実感が持てていない。

そう思う 23.2%

どちらかといえば、そう思う 44.6%

- ・全国平均と比べて、「そう思う」の回答率が約11%下回っている。

これからの指導の方向性

- ・授業での話し合う活動において、他者の意見や考えを聞き、自分の考えを伝える機会の充実を図る。
- ・話し合い活動の感想やふりかえりなどによる交流や評価を通して、互いに認め合い、協力していこうとする姿勢を育てる指導を行う。

児童アンケート

課題が見られる設問

(8) 毎日同じぐらいの時刻に寝ていますか。

考えられる課題

●規則正しい生活習慣の定着

そう思う 31.3%

どちらかといえば、そう思う
32.1%

- ・全国平均と比べて、「そう思う」の回答率が約10%下回った。
- ・全国平均と比べて、「どちらかといえば、そう思う」も回答率が約3%下回った。

これからの指導の方向性

- ・本校が取り組んでいる「家庭学習チャレンジ週間」に今後も継続して取り組み、児童や保護者が基本的な生活習慣を目指す意識を高め、規則正しい生活が送れるようにする。
- ・生活リズムの確立の重要性について、学級懇談会などのいろいろな機会において、保護者への啓発を進めていく。

児童アンケート

課題が見られる設問

自分には、よいところがあると思いますか。

考えられる課題

●自己肯定感を高く持てていない。

あてはまる 30.4%

どちらかといえばあてはまる。
50.0%

- ・全国平均と比べて、「あてはまる」の回答率が約11%下回った。
- ・全国平均と比べて、「どちらかといえ
ば、あてはまる」と合わせると、回答率が
約3%下回っている。

これからの指導の方向性

・授業や行事などの様々な場面において、成果だけでなく、取り組む姿勢や過程を大事にして評価していくことに留意した学校経営・学級経営を行うことで、学校教育全体を通じて、自己肯定感を高める取り組みを推進する。

忠岡町立忠岡中学校

中学校 国語 話合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く

考えられる課題

- 短答式の問題であるものの記述が必要とされる問題である。記述式の問題に対する苦手意識が高い。
- 問いを読み、提示されていることの何に注目するかを考える力

正答率 46.2 %
無解答率 30.1 %

無解答率が、国語A中最も高く、正答率の全国平均との差も最も大きい。

これからの指導の方向性

- ☆ 活用の問題等を指導するにあたって、まず、何について問われているかを考えることを繰り返し指導する。
- ☆ 記述式の問題に対する苦手意識を克服させるため、書き方の例を示したり、短文から、徐々に長文を書くような指導を計画する。

課題が見られる設問

A6 二谷さんは、【メモの一部】を見て、黒川さんと木村さんに確認しなければならぬことがあることに気付きました。【話し合いの一部】の□で、谷さんはどのような発言をすると思いますか。「黒川さんと木村さんは、」に続けて、実際に話すように書きなさい。

中学校 国語 登場人物についての説明として適切なものを選択する。

考えられる課題

- 物語文を読むのに時間がかかること
- 物語の内容の概要を捉える力

正答率 65.8 %
無解答率 2.6 %

国語Bの選択式の問題で、全国平均との正答率の差が最も大きい。

これからの指導の方向性

☆ 物語の全体構成や概要をとらえ、登場人物の心情や行動、情景描写などに注意して読み、文章の理解を深めることができるように指導を行う。併せて、文章をできるだけ速く読めるような指導を計画する。

課題が見られる設問

- B3 一 この話に登場する人物についての説明として最も適切なものを、次の1～4までのの中から一つ選びなさい。
- 1 夢つらないの女は、ひきのまきひとの夢を不吉な夢だと予言した。
 - 2 夢つらないの女は、ひきのまきひとに頼まれて彼の要求に応じた。
 - 3 国司の長男殿は、ひきのまきひとを自分のライバルだと思い込んでいた。
 - 4 国司の長男殿は、ひきのまきひとが自分の夢を取ったことを知っていた。

中学校 数学・数直線上の数値を読み取る

- ・絶対値の意味を理解している
- ・指数を含む正の数と負の数の計算ができる

成果が見られる設問

A1

- (1) 点Aが表す数を書きなさい。
- (2) 絶対値が6である数をすべて書きなさい。
- (3) $2 \times (-5^2)$ を計算しなさい。

正答率 (1) 96.8%

(2) 74.5%

(3) 76.4%

無解答率 (1) 0.0%

(2) 10.2%

(3) 0.6%

考えられる成果

○基礎的な内容を理解しており、基本的な計算もできる。

それぞれ、正答率が全国平均より高い。

これからの指導の方向性

これまで行ってきた、放課後学習、宿題の提出の徹底等の取組や習熟度別指導等の個に応じた指導の充実を図る。

中学校 数学 グラフから列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求める。

課題が見られる設問 B3(2)

列車のすれ違いは、A駅からの道のりが km
の地点で1回、A駅からの道のりが kmの
地点で2回起こる。

太一さんが作ったグラフをもとに、上の ,
に当てはまる数をそれぞれ求めなさい。

考えられる課題

- 長い問題文から質問の意図を読み取る力
- 出題の意図と照らし合わせ、具体的な事象とグラフとの関連性を読み取る力

正答率 56.7%
無解答率 24.2%

全国平均との正答率の差が最も大きく、
無回答率も全国平均と比べ3倍以上ある

これからの指導の方向性

- ☆長い問題文にも慣れ、あきらめずに出題の意図を読み取る力を育てる。
- ☆具体的な事象をグラフや資料と関連づけて読み取る力を育てる。

中学校 理科 神経系の働きについての知識を身に付けている。

成果が見られる設問

5(1)

下線部の反応の経路を下のように示したとき、
に適する語句を書きなさい。

目 → 神経 → 脳・脊髄 → 運動神経
→ 筋肉

考えられる成果

○神経の働きについて
知識が身に付いている。

正答率 58.3%
無解答率 17.9%

正答率が全国平均より高い。

これからの指導の方向性

☆基礎基本の知識を身に付けられるような、わかりやすい授業等の取組み
の充実を図る。

中学校 理科 アルミニウムは、水の温度変化に関係していることについて新たな問題を見出すことができる。

課題が見られる設問

8(3)

夏希さんは、アルミニウムは水の温度の変化に関係していることは分かりましたが、【**新たな疑問**】をもちました。あなたなら、アルミニウムについて、どのような新たな疑問をもちますか。その疑問を書きなさい。

考えられる課題

- 記述式の問題に対する苦手意識が高い。
- 実験結果から新たな疑問を見出すこと。

正答率が全国平均より20%以上低く、無解答率は2倍となっている。

正答率 50.6%
無解答率 42.3%

これからの指導の方向性

☆この問題については、解答すれば、ほとんどが正答しているのですが、記述式の問題に授業で取り組むとともに、諦めずに書こうとする姿勢を育む。
☆答えの理由を述べたり書いたりする指導とともに、どうしてそうなるかを考えたり、結果を予想したりする指導を推進する。

生徒アンケート

成果が見られる設問

- (11)家で、学校の宿題をしていますか。
1. している 2. どちらかといえば、している
3あまりしていない 4. まったくしていない

考えられる成果

○宿題をしようとする意識が全体的に高まっている。

1及び2と回答した生徒の割合が全国平均と比べ少し高く、4と答えた生徒の割合が全国平均と比べ低い。

これからの指導の方向性

☆これまでの取り組みで、宿題をしようとする意識が高まっていると思われる。
引き続き宿題をする取り組みの充実を図っていく。

生徒アンケート

課題が見られる設問

(14)学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含まれます。)

「・3時間以上、・2時間以上3時間より少ない」の合計が43.6%。「・30分以上、1時間より少ない、・30分より少ない」の合計が29.5%

考えられる成果と課題

○学習塾や家庭教師の時間を含むものの2時間以上学校の授業時間以外に勉強をすると答えた生徒の割合が全国平均より高いのは、家庭学習定着のための取組の成果と考える。

●30分以下しか勉強しないと答えた生徒の割合は全国平均より高く、宿題以外に家庭学習をほとんどしない生徒への対応が課題である。

これからの指導の方向性

☆これまで行ってきた家庭学習定着のための取組みの充実を図る。
特に、家庭学習をほとんどしない生徒への対策を考える。

生徒アンケート

課題が見られる設問

(15) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)

「2時間以上・1時間以上、2時間より少ない」の合計が16.1%で全国平均より高いが、全くしない割合が53.8%で全国平均に比べかなり高い。

考えられる課題

● 読書が好きな生徒がそれなりに多い反面、半分以上の生徒が読書をまったくしないと回答している。

これからの指導の方向性

☆ 読書をまったくしない生徒の割合をどう減少させるかが課題である。
読書の魅力を伝え、楽しさを味わわせるための取組みを進めていく。

生徒アンケート

成果が見られる設問

(31) 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。

1. 当てはまる
2. どちらかといえば、当てはまる
3. どちらかといえば、当てはまらない
4. 当てはまらない

考えられる成果

○問題を諦めずに解こうとする意識が高まっている。

1及び2と答えた生徒の割合が全国と比べ3%以上高く、当てはまらな
いと答えた生徒の割合も低い。

これからの指導の方向性

☆引き続き、わかりやすく、多様な考えを出しあう授業を推進する。

生徒アンケート

課題が見られる設問

(37) 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って、説明する問題がありましたが、それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか。

- 1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった
- 3 書く問題は全く解答しなかった

考えられる課題

- 記述式の問題について途中で諦めたり、まったくしない割合が高い。

1が40.4%で全国平均に比べ、15%程度低い。

これからの指導の方向性

☆引き続き、授業等の中で、記述式の問題に取り組ませたり、定期テストに記述式の問題を出題したりしていく。

☆各教科で、理由を考え、それを発表したり、記述したりする指導を充実させる。

生徒アンケート

課題が見られる設問

(54) 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。

1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない

考えられる課題

●話し合う活動で自分の考えを深めたり、広げたりできているという意識が低い。

1及び2と回答した生徒の割合が全国に比べ20%程度低い。

これからの指導の方向性

☆各教科で、話し合い活動を取り入れるようにしているが、話し合いが活発になるような手順やテーマについて研究を進める。